

## 令和6年能登半島地震で被災された 同窓生への義援金について

能登半島地震により被災された同窓生への義援金募集のお願いにつきましては、多くの皆様から温かいご支援を頂き、心より感謝申し上げます。

当初同窓会といたしましては、新潟県（佐渡市）、富山県及び石川県の能登半島地域にお住まいの同窓生へ義援金をお送りする予定でしたが、関係県の支部長や同窓生の皆様から頂いた情報を基に、被災地の状況を概ね整理する事が出来、能登半島地域の富山県（11名）と石川県（18名）の方々に、先ず「お見舞い金」をお届けする事になりました。

先月23日、黒澤会長と若林副会長が現地に伺い、富山県の山本様（25期）、石川県支部長の宮崎様（25期）へお預けしました。その後お二人がそれぞれの被災地域を回られ「お見舞金」を皆様に手渡されたとのご連絡を頂きました。

地震直後からの同窓会関係者による被害状況の調査中には、「より甚大な被害を受けられた同窓生へ優先して届けて欲しい。」と、受け取りを辞退された方も数多くいらっしゃった様です。

大きな被害を受けられた能登半島地域では、全壊した家屋等の公費による解体作業が未だ殆ど進んでいない状況のため、震災後半年を過ぎても再建の目処が全く立たないとの事です。

今後同窓会としましては、甚大な被害を受けた能登半島地域にお住まいの同窓生へ、生活再建のための一部としてお使い頂く「義援金」をお送りするのは、来月以降に改めて状況を判断した上で対応する事と致しました。

被災地ではこれからも厳しい環境下での避難生活が続きますが、お体に気を付けてお過ごし頂きますよう、心からお祈り申し上げます。

令和6年6月21日

鯉淵学園同窓会事務局